

第7回巨大津波災害に関する合同研究集会を開催しました(2017/12/8-9)

テーマ：災害科学，津波災害，津波工学
 場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）

12月8日(金)～9日(土)の2日間，東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市）にて，第7回巨大津波災害に関する合同研究集会が開催されました。本研究集会は，津波災害に関する研究に取り組む，様々な分野の研究者や学生による学術的な交流を通じて，津波研究の発展と防災・減災に資することを旨として，2011年から毎年開催されています。

第7回となる本研究集会は，実行委員長の今村文彦教授（災害リスク研究部門）の開会挨拶の後，津波の現象理解・津波即時予測・避難行動に関する研究など41件の研究発表がなされ，活発な議論が展開されました。本研究所からは越村俊一教授（災害リスク研究部門），林晃大助手（寄附研究部門）が登壇し発表しました。また，サッパシー・アナワット准教授，マス・エリック准教授（以上，災害リスク研究部門），山下啓助教（寄附研究部門）はセッションの座長を務めました。2日間の研究集会を通じて，71名の方にお越しいただきました。

各発表者の講演題目等は次の通りです：

- ✓ ○越村俊一，日野亮太，他：リアルタイム津波浸水被害予測システム
 - ✓ ○Bruno Adriano，越村俊一，他：Source of the 1979 Mw8.1 Tumaco Earthquake estimated from tsunami waveform records and geodetic data
 - ✓ ○鈴木滉平，山下啓，今村文彦，他：3次元津波漂砂シミュレータによる直立堤背後の洗掘深計算の妥当性について
 - ✓ ○林晃大，山下啓，今村文彦：家屋被害実績に基づく海岸線の津波減災効果に関する定量的検討
 - ✓ ○渡部真史，後藤和久，今村文彦：2013年ハイヤン台風でのBOSZモデルを用いた土砂移動計算による高潮堆積物形成プロセス推定
 - ✓ ○福谷陽，寺田賢二郎，森口周二，他：応答曲面を用いた津波リスク評価手法構築に向けた基礎検討
 - ✓ ○倉本和俊，サッパシー・アナワット，今村文彦：仙台湾の観測による宮城県における津波注意報・警報となり得る正断層地震シナリオの評価
 - ✓ ○Luis Moya，マス・エリック，越村俊一：Building damage mapping using tsunami fragility functions and satellite images
 - ✓ ○Pakoksung Kwanchai，サッパシー・アナワット，今村文彦：Systematic Evaluation of Multilayered Infrastructure Systems for Tsunami Disaster Mitigation in Sendai City
 - ✓ ○新家杏奈，佐藤翔輔，今村文彦：津波避難行動を促す要因に関する調査研究～東日本大震災発生の前とその後の津波伝承に着目して～
- （発表順，発表者と共同研究者（研究所構成員）のみ記載。発表者には○を付し，共同研究者には下線を付す。）

なお，第8回は来年12月に東京大学地震研究所での開催を予定しております。



今村文彦教授



越村俊一教授



研究集会の様子



懇親会の様子